

福祉衛生環境保全委員会 要求資料

- 資料 1 脳血管医療センター 収支の計画と実績（平成 14 年度実績含む）
- 資料 2 平成 14 年度 市民病院の来院時間帯別小児救急患者数
- 資料 3 市民病院 小児科医師の勤務状況
- 資料 4 市民病院 高度医療機器の稼働件数
- 資料 5 市民病院 がん検診センターでの発見がん患者の 5 年生存率
及び県内の医療機関との比較
- 資料 6 市民病院 がん検診センターへの
一般会計繰入金と国庫補助金の推移
- 資料 7 市民病院における SARS 対応
これまでの経過と関連患者数及び対応スタッフの状況
- 資料 8 市民病院 平成 14 年度決算 前年度と比較した主な改善内容
- 資料 9 平成 15 年度 市民病院の経営改善の目標
- 資料 10 市民病院 平成 15 年度収支見込
- 資料 11 市民病院 主な経営改善目標値と実績（平成 7 年度～平成 15 年度）

脳血管医療センター 収支の計画と実績

収益的収支

(実績は税抜額、単位;百万円)

	計画(13年度)	13年度実績	計画と実績の差	14年度実績	計画と実績の差
経常収益	6,412	5,194	1,218	5,299	1,113
入院収益	3,589	2,642	947	2,517	1,072
1日当たり患者数	285人	249人	36人	259人	26人
病床利用率	95.0%	83.0%	12.0%	86.2%	8.8%
診療単価	34,626円	29,076円	5,550円	26,663円	7,963円
外来収益	941	316	625	440	501
1日当たり患者数	301人	137人	164人	153人	148人
診療単価	12,716円	9,429円	3,287円	11,735円	981円
一般会計繰入金	1,252	1,749	497	1,852	600
うち企業債利息償還金の2/3 A	292	375	83	394	102
その他 B	960	1,374	414	1,458	498
介護老人保健施設収益	358	326	32	331	27
その他	272	161	111	159	113
経常費用	9,427	7,703	1,724	7,920	1,507
人件費	2,776	3,348	572	3,528	752
医業収益比率	55.8%	103.0%	47.2%	107.8%	52.0%
(繰入金を除く医業収益比率)	(58.2%)	(109.8%)	(51.6%)	(116.0%)	(57.8%)
材料費	1,734	654	1,080	742	992
医業収益比率	34.9%	20.1%	14.8%	22.7%	12.2%
(繰入金を除く医業収益比率)	(36.4%)	(21.4%)	(15.0%)	(24.4%)	(12.0%)
経費等	1,989	1,298	691	1,258	731
減価償却費等 C	2,453	1,769	684	1,769	684
企業債利息	475	634	159	623	148
経常収支 = -	3,015	2,509	506	2,621	394

現金収支 = +C	562	740	178	852	290
-----------	-----	-----	-----	-----	-----

資本的収支

資本的収入	679	525	154	583	96
うち企業債元金償還金の2/3 D	679	525	154	583	96
資本的支出	1,034	792	242	875	159
企業債元金償還金	1,034	790	244	875	159
資本的収支 = -	355	267	88	292	63

運営資金補填額 E = - (+)	917	1,007	90	1,144	227
---------------------	-----	-------	----	-------	-----

一般会計負担額	2,848	3,281	433	3,579	731
企業債元利償還金分 A + D	971	900	71	977	6
運営費分 B + E	1,877	2,381	504	2,602	725

計画は、開院前に平年度ベースを想定したものです。

平成 1 4 年度 市民病院の来院時間帯別小児救急患者数

(単位：人)

区分	来院時間帯	救急患者数(A)	(A)のうち 救急車搬送数	(A)のうち 入院患者数(B)	入院比率(B/A%)
昼 間 帯	9時～	117	14	12	
	10時～	140	13	14	
	11時～	131	12	10	
	12時～	98	23	23	
	13時～	119	18	24	
	14時～	117	12	19	
	15時～	111	18	17	
	16時～	168	15	32	
	小計 (構成比)	1,001 (21.6%)	125 (16.5%)	151 (20.9%)	
夜 間 帯	17時～	415	62	68	
	18時～	380	68	60	
	19時～	427	68	84	
	20時～	402	77	63	
	21時～	347	65	52	
	22時～	279	59	50	
	23時～	228	51	39	
	小計 (構成比)	2,478 (53.5%)	450 (59.5%)	416 (57.5%)	
深 夜 早 朝 帯	0時～	186	19	25	
	1時～	148	21	29	
	2時～	100	9	12	
	3時～	81	7	6	
	4時～	82	13	16	
	5時～	74	28	8	
	6時～	156	38	26	
	7時～	184	27	15	
	8時～	139	19	19	
小計 (構成比)	1,150 (24.9%)	181 (24.0%)	156 (21.6%)	13.6%	
合計 (構成比)		4,629 (100%)	756 (100%)	723 (100%)	15.6%

救急患者数とは、市民病院救急外来で受診した患者数をいう。

資料 3

市民病院 小児科医師（5人）の勤務状況（平成15年7月の実績）

医 師	区 分	勤務日数
A 医師（常勤）	当 直	4 回
	日 直	1 回
	日 勤	2 2 日
B 医師（常勤）	当 直	4 回
	日 直	1 回
	日 勤	2 2 日
C 医師（常勤）	当 直	5 回
	日 直	1 回
	日 勤	2 2 日
D 医師（常勤）	当 直	5 回
	日 直	2 回
	日 勤	2 2 日
E 医師（常勤）	当 直	6 回
	日 直	2 回
	日 勤	2 2 日
市民病院小児科 常勤医師日当直回数	当直回数	2 4 回
	日直回数	7 回
	一人平均当直回数	4 . 8 回
	一人平均日直回数	1 . 4 回
	一人平均日当直合計	6 . 2 回
外部応援医師	当 直	7 回
	日 直	2 回

市民病院 高度医療機器の稼働件数

機 器 名		台数	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度
コンピューター断層 撮影装置 (C T)	病院	1 台	6,958 件	6,682 件	7,024 件
	がん検診 センター	1 台	9,772 件	10,456 件	12,268 件
超伝導磁気共鳴 断層撮影装置 (M R I)		1 台	2,924 件	2,438 件	3,597 件
ガンマカメラ 画像処理装置 (R I)		2 台	2,651 件	2,399 件	2,539 件
高エネルギー放射線 治療装置 (リニアック)		1 台	6,020 件	3,620 件	6,189 件
温熱治療装置 (ハイパーサーミア装置)		1 台	49 件	54 件	38 件

平成 13 年度は機器更新・設置工事のため稼働期間が短い。

市民病院 がん検診センターでの発見がん患者の5年生存率
及び県内の医療機関との比較

項 目	市民病院 がん検診センター	県内の医療機関
胃がん	72.7%	56.5%
肺がん	50.3%	22.6%
大腸がん	86.7%	69.8%
子宮がん	95.3%	79.9%
乳がん	91.2%	84.7%
肝がん	32.1%	23.8%
喉頭がん	68.4%	72.5%
前立腺がん	90.8%	73.6%

- (注) 1 「市民病院がん検診センター」の数値は、昭和56年度から平成13年度までに発見されたがん患者に対して平成14年度中に調査した結果です。
- 2 「県内の医療機関」の数値は、神奈川県悪性新生物登録事業年報(平成14年12月発行)の「表1-1 主要部位別5年相対生存率」の平成7年のデータ(平成7年に発見されたがん患者が平成12年において生存している割合)を記載しています。

市民病院 がん検診センターへの
一般会計繰入金と国庫補助金の推移

年 度	一般会計繰入金	国庫補助金
平成 9 年度	4 5 7 , 5 5 6 千円	2 2 , 7 5 9 千円
平成 10 年度	4 9 6 , 9 6 0 千円	
平成 11 年度	5 1 2 , 3 5 8 千円	
平成 12 年度	5 3 1 , 8 8 1 千円	
平成 13 年度	6 6 0 , 2 6 4 千円	
平成 14 年度	6 6 9 , 2 8 1 千円	

平成 9 年度までは、国庫補助金がありましたが、平成 10 年度に一般財源化されています。

市民病院における S A R S 対応 これまでの経過と関連患者数及び対応スタッフの状況

これまでの経過

2002ワールドカップ時の生物テロ対策の一環として、院内で1類感染症疑い患者を想定した患者対応手順を作成し、訓練を行った。

平成15年 3月12日	【WHO 原因不明の肺炎に関する緊急情報】
3月17日	【衛生局 重症急性呼吸器症候群について該当症例報告依頼】
3月20日	院内感染対策 厚生労働省情報逐次提供 委員会 感染症部で患者対応
3月26日	管理会議 院内全体会議にて対応周知 福祉保健センターへの報告 WHO管理指針 院内感染防止対策ガイダンス
4月 3日	院内SARS 病院としての対応協議 緊急対策会議 患者、来院者への周知、案内 トリアージ、他患者分離 マスク調達 院内感染防止、防御対策 問い合わせ、相談対応 診療方針受入対応 【感染症法上「新感染症」の取り扱いとなる。】
4月 4日	院内対策会議 疑いのある受入体制 フロー整備 案内表示設置 正面玄関、救急外来出入口に来院者用マスク常備 【地域医療機関から患者受入、入院診療開始】 【衛生局 重症急性呼吸器症候群（SARS）対策関係課長連絡会】
4月 7日	インターホン設置（救急外来出入口） 【横浜市の対応について発表：患者受入先 市民病院】
4月 8日	院内対策会議 電話問合せの対応窓口を感染症病棟看護師から 看護部に移設
4月 9日	院内対策会議 受入体制の再点検 医師看護師等職員を中心としたSARSに関する説明会の開催 （講師 感染症部長、講堂）
4月22日	【第2回 SARS対策連絡会】（第3回5/9、第4回5/19、第5回6/20開催）
5月 9日	院内対策会議 当直医師への診断基準書の周知 受入体制の再点検
5月16日	【衛生局 横浜市重症急性呼吸器症候群（SARS）対応指針 発表】
5月30日	院内対策会議 複数患者発生時の応援体制の検討 SARS関連防護具の整備
6月17日	横浜検疫所、横浜市、神奈川県「SARS」搬送訓練に参加
7月 5日	【WHO 台湾を伝播確認地域から削除】
7月14日	【感染症法上「指定感染症」の取り扱いとなる。】

関連患者数 56人	最終診断（入院患者数 11人）			
	かぜ症候群/上気道炎	37人		
	肺炎	6人		
	気管支炎	3人		
	水痘	1人		
	その他	4人		
	無症状	5人		
	入院患者数には、可能性例 1 人を含む。			
対応スタッフの状況	医師	感染症部医師 2 名を中心として外来・入院診療にあたり、夜間帯は当直の医師も含めて対応した。		
	看護師	感染症病棟の看護師を中心に専任で看護にあたり、夜間・休日の来院については救急外来担当者が、電話による問い合わせについては感染管理担当師長等が対応した。		
	事務	患者の案内・搬送及び外来への連絡対応等 陰圧等設備・清掃等の確認及びN95マスク等の必要物品の確保 取材等への対応及び病院全体への連絡調整		
	電話相談件数	（時間内）	電話相談件数	うち受診案内
		平成15年4月	71件	13件
		平成15年5月	109件	12件
		平成15年6月	17件	1件
平成15年7月		2件	2件	
累計	199件	28件		

市民病院 平成 14 年度決算 前年度と比較した主な改善内容

(単位：千円)

	14年度税抜 決算(A)	13年度税抜 決算(B)	(A)-(B) 差引	主な減少理由
市民病院事業費用	14,225,639	14,724,828	499,189	
給与費	7,357,757	7,348,355	9,402	超過勤務手当の縮減 (縮減額 49,171) 薬剤師アルバイトの削減 (削減額 13,704) 退職手当の増加 (増加額 142,768)
薬品費	1,893,156	1,949,747	56,591	院外処方の推進による薬品購入の減少
診療材料費	978,077	1,019,793	41,716	同等品採用による単価の減少等
光熱水費	366,086	389,101	23,015	流量調整による水道使用量の削減、 電気料金改定による単価減少
委託料	1,263,549	1,428,308	164,759	競争入札等による契約額の減少 医事業務 (51,156) 給食業務 (48,475) 中材・メッセージャー業務 (41,073) 清掃管理業務 (19,740) 事務当直加入室業務 (16,623) 等
その他	2,367,014	2,589,524	222,510	修繕費、企業債利息、繰延勘定償却の減少

平成15年度 市民病院の経営改善の目標

区分	改善項目	平成15年度目標（値）	平成14年度実績	備考
収入 関係	1 病床利用率の向上	93.0%	90.3%	救急患者の積極的受入 病診連携の推進
	2 入院診療単価	39,000円	37,159円	クリニカルパスの拡充 救急患者受入の増加
	3 平均在院日数の短縮	17日以内	16.3日	検査等の短期入院の促進
	4 紹介率の向上	40%以上	39.3%	病診連携の推進
支出 関係	5 超過勤務の適正化	平成14年度実績に対して 10%の縮減（40,000千円）	平成13年度実績に対して 11%の縮減（49,000千円）	勤務時間の変更 （時差勤務）等
	6 委託料の節減	平成14年度実績に対して 5%の節減（46,000千円）	平成13年度実績に対して 16.3%の節減（180,000千円）	給食業務、警備業務等
	7 診療材料費の節減	10億円以内に支出を抑える。	10億円以内の支出の達成 （9億7千万円）	同等品の導入など単価減 を図る。

市民病院 平成15年度収支見込

(単位:千円、%)

	決算見込額 A	14年度 決算額 B	A-B 増減		15年度 決算見込額 C	医業収 益比率	14年度 決算額 D	医業収 益比率	C-D 増減額
事業収益	13,912,315	13,738,102	174,213	事業費用	13,997,026	125.1	14,225,639	130.0	228,613
入院収益	7,534,581	7,347,941	186,640	給与費	7,262,978	64.9	7,357,757	67.3	94,779
	延患者数 198,195人 (543人) 病床利用率 90.5% 診療単価 38,016円	延患者数 197,787人 (542人) 病床利用率 90.3% 診療単価 37,151円	408人 (1人) 0.2% 865円	材料費	3,091,823	27.6	3,019,432	27.6	72,391
外来収益	3,043,172	2,973,175	69,997	薬品費	1,939,159	17.3	1,893,156	17.3	46,003
	延患者数 362,110人 (1478人) 診療単価 8,404円	延患者数 377,514人 (1541人) 診療単価 7,876円	15,404人 (63人) 528円	診療材料費	996,544	8.9	978,077	8.9	18,467
がん検収益	284,490	276,605	7,885	その他	156,120	1.4	148,199	1.4	7,921
一次検診収益	29,085	26,679	2,406	経費	2,283,013	20.4	2,327,033	21.3	44,020
二次検診収益	255,405	249,926	5,479	賃借料	443,098	4.0	411,118	3.8	31,980
室料差額収益	323,647	342,089	18,442	委託料	1,187,549	10.6	1,263,549	11.6	76,000
繰入金	2,543,214	2,594,577	51,363	その他	652,366	5.9	652,366	5.9	0
その他	183,211	203,715	20,504	研究研修費	32,876	0.3	32,876	0.3	0
				減価償却費等	854,734	7.7	982,885	9.0	128,151
				企債利息等	471,602	4.2	505,656	4.6	34,054
				経常損益	84,711	-	487,537	-	402,826

収支見込み試算の前提

- 1 事業収益については、平成15年4月から6月までの実績を基に試算している。
- 2 給与費に関しては、当年度の給与改定を見込んでいない。

(参考) 事業収益・事業費用・経常収支の推移

(単位:千円)

年度	事業収益	事業費用	経常損益
平成12年度	15,099,120	15,855,947	756,827
平成13年度	13,888,408	14,724,828	836,420
平成14年度	13,738,102	14,225,639	487,537

市民病院 主な経営改善目標値と実績（平成7年度～平成15年度）

（上段：目標値、下段：実績）

		平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
1	1日平均 入院患者数	564人	556人							
		555人	556人							
2	病床利用率			93.0%	93.0%	92.5%	92.5%	92.5%	92.5%	93.0%
				90.8%	90.8%	90.1%	90.4%	90.5%	90.3%	
3	平均在院日数					19日以内	19日以内	18日以内	17日以内	17日以内
						19.4日	18.4日	17.5日	16.3日	
4	紹介率			20%以上	30.0%	30.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%
				24.5%	27.7%	30.7%	31.8%	33.7%	39.7%	
5	院外処方発行率			10.0%	10.0%	10.0%	30.0%	95.0%	95.0%	目標達成済み
				4.1%	3.7%	7.4%	20.5%	90.5%	96.9%	
6	診療材料費の節減								10億円以内	10億円以内
									9.7億円	
7	委託料の節減							5.0%	20.0%	5.0%
								5.1%	16.3%	
8	査定率			0.5%以内	0.5%以内	0.4%以内	0.4%以内	0.4%以内	0.4%以内	0.4%以内
				0.72%	0.60%	0.70%	0.52%	0.62%	0.69%	

平成6年度は、経営健全化に向けて、収益確保及び費用節減項目の洗い出しを行った。